

他誌発表（平成14年4月～平成15年3月掲載）

大 気 環 境	落ち葉の焼却から生成するダイオキシン類に関する考察 早福正孝、辰市祐久、古明地哲人、岩崎好陽：大気環境学会誌、37(2),pp.122-130(2002)
	高速道路トンネル交通車両からの揮発性有機化合物の排出係数 桜井健郎、田邊潔、森口祐一、若松伸司、星純也、石井康一郎、中村健、泉川碩雄：大気環境学会誌、37(1), pp.47-74(2002)
水 環 境	水質モニタリングのいろいろ 安藤晴夫、今本信之、土屋隆夫：日本水環境学会誌、25(5), pp.256-260(2002)
	魚類由来FHM-sp細胞に対する界面活性剤系消火剤の毒性 森真朗、塩田勉：環境毒性学会誌、5(2),pp.91-99(2002)
	生態影響試験ハンドブッケー化学物質の環境リスク評価ー 畠山成久、茂岡忠義、森真朗、若林明子外：朝倉書店、pp.249-252(2003)
	多摩川のコイのメス化問題について 和波一夫：都薬雑誌、1(7), pp.40-44(2002)
	都市河川の雨天時汚濁の実態 和波一夫、嶋津暉之：水環境学会誌、25(9), pp.529-532(2002)
	都内河川の環境ホルモン問題に関する研究 和波一夫、嶋津暉之、宮下雄博：全国環境研会誌、27(3), pp.179-185(2002)
	東京湾における魚類のダイオキシン類、PCBs汚染 飯村文成、佐々木裕子、津久井公昭、吉岡秀俊、東野和雄、竹田宜人、葛西孝司：環境化学、12(2), pp.343-352(2002)
自 動 車 公 害 対 策	Cytotoxicity of surfactants to the FHM-sp cell line M.Mori,N.Kawakubo and M.Wakabayashi：Fisheries Science,68,pp.1124-1128(2002)
	自動車からのPCDDs/PCDFs排出 横田久司、泉川碩雄、舟島正直、田原茂樹、佐野藤治、佐々木裕子、吉岡秀俊、東野和雄：大気環境学会誌、38(3), pp.35-46(2002)
	Emissions of Organic Carbon from 'In-Use' Diesel Vehicles Hisashi YOKOTA, Sigeki TAHARA, Fujiharu SANO,Kazuhiko SAKAMOTO：エアロゾル研究、18(1), pp.40-46(2003)
騒 音	The Emission Performance of a GTL Diesel Fuel - a Japanese Market Study I..Myburgh, M.Schnell, K.Oyama, H.Sugano, H.Yokota, S.Tahara：JSAE 20030154,SAE 2003-01-1946(2003)
	低周波音の測定方法,環境管理 末岡伸一：38(7), pp. (2002)
廃 棄 物 対 策	東京都における自動車騒音対策 阿部新、末岡伸一：騒音制御、27(1), pp. (2003)
	小口・家庭系有害廃棄物の排出と管理システムに関する検討 四阿秀雄：「とうきょうさんぱい」第151号、(社)東京産業廃棄物協会機関誌、pp.2-11(2003)
分 析 技	揮発性有害大気汚染物質自動分析装置によるモニタリングの現状 星純也：環境と測定技術、29(7), pp59～67(2002)
	残留性化学物質と生態系保全 佐々木裕子：廃棄物学会誌、13(5), pp.239-246(2002)

術 等	金属環境汚染と測定法 鎌滝裕輝：生物試料分析、25(2), pp.124-131(2002)
	関数関係解析による Chemical Mass Balance 柏木宣久、佐々木裕子、飯村文成、安藤晴夫：応用統計学、31(1), pp.59-74(2002)